

平成 29 年度 日本体育・スポーツ経営学会第 1 回常務理事会

日時：平成 29 年 5 月 12 日（金）17:00～19:15

場所：筑波大学東京キャンパス 433 教室

出席者：柳沢、中西、木村、斎藤、西原、清水、作野、朝倉、林田（幹事）

欠席者：中路、松岡

1. 報告事項

(1) 第 40 回大会決算報告

中西理事長から、武隈理事が作成した資料をもとに第 40 回大会決算報告が行われ、収入合計：664,778、支出合計：648,000、収支差額：-16,778 であったことが報告された。学会大会号の保管方法をデータによる保管に移行することが提案され、学会大会運営委員会において検討することが確認された。

(2) 平成 28 年度決算報告

総務委員会委員長の清水理事から、平成 28 年度の最終的な収支決算報告が行われ、収入合計：5,024,915 円、支出合計：1,795,244 円、収支差額：3,229,671 円、今期収支差額：257,686 円であったことが報告された。木村副会長から、平成 28 年度予算に計上されていない理事会シンポジウムの経費及び展示ブース使用料を計上したことについて指摘がなされ、今後は研究推進委員会で再来年度の学会大会時に理事会企画シンポジウムを実施するかどうかを検討し、事前に予算化することが確認された。

(3) Web 会員調査の結果報告

木村副会長から、Web 会員調査結果報告を会報 71 号に掲載することが報告された。

(4) 「体育・スポーツ経営学」関連規程の確認

中西理事長から、昨年度作成・改正された「会員以外への依頼論文の編集等に関する申し合わせ」、「論文審査要領」、「論文審査に関する申し合わせ」の変更点等について説明がなされ、確認された。

2. 審議事項

(1) 本年度の理事会組織の分担について

中西理事長から平成 29 年度の委員会構成と役員の役割分担が提案され承認された。なお、編集事務局幹事が変更されるため、新規に依頼する印刷業者に対して機関誌の見積もりを早期に取っておくことが確認された。

(2) 会報 71 号、第 72 号の発行計画について

広報委員会委員長の朝倉理事から、会報 71 号の企画内容が提案され、承認された。発行予定日を 6 月末から 7 月上旬にすることとなった。また、今年度の検討事項が提示され、学会 HP の企画・運営、SNS の活用法の検討、学会内広報の充実（HP 上に会員紹介コーナーの設置など）および Web 会員調査結の事業化可能性の検討などが確認された。これらの内容については、広報委員会を中心に検討していくことが確認された。

(3) 研究集会（第 56 回、第 57 回、第 58 回）の開催計画について

①第 56 回研究集会について

実践（現場）対応委員会委員長の作野理事から「スポーツによるまちづくり：総合型地域スポーツクラブがまちを変える」（仮）をテーマとした研究集会を金沢市にて9月23日（土）もしくは24日（日）に開催することが提案され、研究者による基調講演、およびパネルディスカッションを行う予定であることが確認された。なお、研究集会の開催時期が迫っていることを踏まえ、企画の草案については、常務理事によるメール審議を行うことが確認された。

②第57回研究集会について

総合型クラブ関連として、「スポーツ事業と顧客創造について考える」（仮）をテーマとした研究集会を朝日大学で10月29日（日）に開催を予定し準備を進めていることが報告された。テーマ設定の趣旨について見直しが提案され、審議の結果、作野理事から、実行委員長の築瀬会員に対して計画の具体的な内容の確認と本学会が提案する総合型クラブに合わせた内容への再検討を依頼することとなった。

③第58回研究集会について

スポーツプロデュース関連として、「スポーツの見る力とスポーツプロデュース」（仮）をテーマとした研究集会を12月下旬から1月下旬の間で行う予定であることが報告された。清水理事から研究集会の趣旨及び集客方法について検討する必要性が提示され、斎藤理事を中心に再検討し、第二回常務理事会にて審議することが確認された。

(4) 今後の学会大会のあり方について

中西理事長から学会大会の企画・運営の流れが説明され、承認された。また、学会大会の短縮化について過去の学会大会の開催期間やプログラムに関する資料をもとに提案された。審議の結果、開催期間を原則として2日間開催にすることを念頭に学会大会運営委員会で継続審議を行い、第二回常務理事会までに上程し、第41回学会大会からの適用をめざすことが確認された。

(5) 研究プロジェクトの推進について

研究推進委員会委員長の齊藤理事から、本年度の研究プロジェクトである「体育・スポーツ経営人材育成研究」を、研究プロジェクト・リーダーの西原理事を中心として、メンバーの募集、具体的なテーマ設定を行うことが提案され、承認された。メンバーの募集は、会員へのメール配信によって行うことが確認された。また、会員募集型研究プロジェクトについては、会員から研究プロジェクトの募集をするための原案を研究推進委員会で作成し、常務理事でメール審議を行うことが確認された。なお、会員から寄せられた研究プロジェクトの選考基準や選考方法については、学会として取り組むべき課題に対する支援であることを踏まえて、継続審議することとなった。

(6) 体育・スポーツ経営学研究第31巻の発行

編集委員会委員長の西原理事から、編集幹事が2年ごとに変更される可能性があることを鑑みて、投稿規定における投稿先を学会事務局にすることが提案され、承認された。また、今年度の検討事項として、科学者の行動規範及び不正行為禁止に関する規程の作成、ショートスタディの検討、早期公開制度の運用面の整備を行うことが確認された。

31巻の編集状況の報告がなされ、審査が終了し掲載可の原著論文が1篇と研究資料が1篇、査読中の研究

資料が1篇あることが報告され、10月末発刊をめどに編集を進めることが確認された。

(7) J-Stage への論文移行作業の状況について

広報委員会委員長の朝倉理事から、J-Stage への論文移行作業の進捗状況の説明が行われた。最新刊については、約一ヶ月のうちにJ-Stageに掲載される予定であるが、全巻掲載されるには早くとも年度末となることが確認された。なお、これらの予定については、大幅な遅れが生じる可能性があることが確認された。

(8) 今年度の理事会の開催日程（時期）について

中西理事長から、今年度の事業計画と理事会開催日程が提案され、承認された。

(9) その他

研究推進委員会委員長の齊藤理事から、第41回学会大会では理事会シンポジウムを開催しないことが提案され、承認された。また、第42回学会大会の理事会シンポジウムについては、研究推進委員会にて審議し、第4回常務理事会までに上程することとなった。

作野理事から、博士論文の一部を論文投稿することについて問い合わせがあった。これらの内容については、編集委員会を中心に継続審議とし、常務理事会に上程し、メール審議をすることが確認された。